

「上野千鶴子『女たちのサバイバル作戦』を読む」第5章

〈この章を読んだ印象をグループで話してみましよう〉

〈ことば〉

男女雇用機会均等法=男並みに機会をやるから男並みにがんばってみろ

娘よりは息子=公費負担の低い日本では、親の負担が多い

資格給と年齢給=投資効果がない→学位を取得しても賃金に反映されない

遜色(そんしょく)がない

機会費用(逸失利益 いっしつりえき)=自己にあわなければ手に入れていたはずの収入や利益

学歴上昇婚

蔑視(べっし)する

揶揄(やゆ)する

専攻別ジェンダー分離

文化資本=趣味、嗜好、振る舞い、教養など貨幣価値に換算されない階層指標。

怨念(おんねん)

3K職場=3Kとは「危険、汚い、きつい」を指す。

マスオさん現象=結婚後、夫が妻の実家に同居すること。マンガ「サザエさん」でサザエさんの夫のマスオさんがサザエさんの実家に同居していることから言われるようになった。

〈文法・表現〉

大卒タクシードライバー

嫁げば他家の嫁

〈この章のトピック〉

女性の分断=少数エリートと大多数の「女並み」のポジションに甘んじる女性(労働条件の悪化)

90年代以降の女性の高学歴化の影響

学歴インフレ

〈設問〉

日本では大学で学位を取得したにもかかわらず、給料の差がなかったのはなぜですか。